

国語科通信 その15

令和2年5月15日

●「ポストパンデミック(コロナ)」について考えてみる その1

～環境問題と感染症～

①「ポスト～」は、「ポストモダン」など評論文で見たことがありますよね。感染症の第一波を越えようとしている(?)今、「ポストパンデミック」「ポストコロナ」という言葉を聞くようになりました。

②「ポスト～」とはどういう使い方をするのでしょ。

教科書の最後「附録」の頁には次のように説明してあります。「ポストモダン」は、近代(モダン)における文化・思想の枠組み(パラダイム)を**検討し、批判・再構築しようとする**文化・思想が現れてきた時期・事態を指す。日本を含む高度資本主義国家では、二十世紀後半にポストモダンが始まったとされる。」

③注目すべきは、「**検討、批判・再構築**」という説明です。「～ポスト」には、「新しい」「次世代」「超克」といったにニュアンスもあるように感じます。

④ところで、「モダン(近代)」的な思考の枠組みとは何でしょうか。『舞姫』でも、「近代」という視点で読みましようとはすでにお

話した通りです。

⑤具体的にどのような「モダン(近代)」の考え方を言えますか。

次の()に言葉を入れてみてください。全て二字の熟語です。

a()文明肯定、b()趣味、c()中心主義

d()主義、d()主義、e()主義

f()主義… 教科書附録からの抜粋です。

以下解答です。

a(機械)文明肯定、b(都会)趣味、c(西洋)中心主義

d(機能)主義、d(合理)主義、e(進歩)主義

⑥次の問いにも答えてください。

上記のような近代合理主義に疑問を投げかける(検討、批判再構築しようとする)文脈、つまり、「ポストモダン」的な文脈が、

今皆さんが読んでいる評論文の主流といえますが、

X「近代合理主義」の文脈で重視される概念

Y「それを批判しようとする文脈」で重視される概念について、

以下の空欄を埋めてみてください。

X 絶対 ⇨ Y()	X 創造 ⇨ Y()
X オリジナル ⇨ Y()	X 秩序 ⇨ Y()
X コスモス ⇨ Y()	X 中心 ⇨ Y()
X 理性 ⇨ Y()	X ログos ⇨ Y()

同じく、教科書附録からの抜粋です。以下解答です。

X 絶対 ⇨ Y(相対)	X 創造 ⇨ Y(模倣)
X オリジナル ⇨ Y(コピー)	X 秩序 ⇨ Y(混沌)
X コスモス ⇨ Y(カオス)	X 中心 ⇨ Y(周縁)
X 理性 ⇨ Y(感性)	X ログos ⇨ Y(パトス)

⑦「現代文単語」の小テストで、ただ語を覚えるのは無味乾燥な「作業」になりがちですが、評論文の背後にある「考え方」を示す言葉だと思つと、もう少し踏み込んで学習ができないでしょうか。

⑧話を最初に戻します。「ポストコロナ」で、「**検討、批判、再構築**」される「今」とはどういう時代なのでしょう。

⑨見出しにある「環境問題」と「感染症」はどのようにつながっているのでしょうか。

⑩5月8日(金)NHKの朝のラジオ番組の内容を紹介します。

「地球環境から感染症を考える」というテーマで、高村ゆかり

先生（東京大学※未来ビジョン研究センター教授）のお話でした。

話のポイントを以下に紹介します。

- ・年に3~4個のペースで、人に感染する新しいウィルスは発見されている。多くのウィルスは野生動物を介して人間に感染する。
- ・本来は人間と離れた自然界に存在していたウィルスが、ヒトの活動、温暖化、気候変動など生態系の破壊、環境の変化によって、私たちの近くに入ってきて人間に感染するようになったと考えられている。
- ・猛烈な感染の勢いは、自然破壊や環境変化が加速し、グローバルな移動が拡大すること、都市に密集した活動・生活、経済活動そのものと密接に関連している。
- ・環境専門家の間では、この感染症からの復興について、「より持続可能な経済・社会」にあり方を変えていこうとする声広がっていて、これを「グリーン・リカバリー」と呼んでいる。
- ・まだまだ未発見のウィルスがあるが、今後新しい感染症のリスクを下げるためには、自然環境の破壊を起こさないようにしなくてはいけない。

※「未来ビジョン研究センター」は、サステナビリティ学に関する研究教育や出版を行う教育研究機関です。

⑪2年生のエイブルの大きなテーマは「**持続可能な社会**のために」でした。多くの方が「環境問題」について論じていました。しかし、「感染症」と「環境問題」と「持続可能な社会」とを結びつける視点は出てきてはいませんでした。

⑫「**ポストパンデミック**」「**ポストコロナ**」の世界では、「感染症」「パンデミック」と「環境問題」がひとつの大きな視点になることは間違いなさそうです。

⑬それは、数年後に社会人となって活躍する皆さんにとっての「新しい仕事」にも間違いなく影響を与えるものだと感じています。

⑭動画もいいのですが、ラジオも面白いです。前述のポイント紹介も「聞き逃し」サービスを利用して書いています。今回は「三宅民夫のマイ朝!」の「真剣勝負」というコーナーのものです。一般視聴者向けに各界の専門家がわかりやすく解説をしてくれます。

⑮「耳」だけに集中するので、逆に頭がよく働いているように感じます。「耳」で言語情報にアクセスするのは思いのほか「豊かな時間」となるはずです。体感してください。